

行政事業レビューシート (厚生労働省)

予算事業名	エイズ予防対策事業委託費	事業開始年度	昭和63年度	作成責任者		
担当部局庁	健康局	担当課室	疾病対策課	疾病対策課 難波 吉雄		
会計区分	一般会計	上位政策	-			
根拠法令 (具体的な条項も記載)	-	関係する計画、通知等	「後天性免疫不全症候群に関する特定感染症予防指針」			
事業の目的 (目指す姿を簡潔に。3行程度以内)	<ul style="list-style-type: none"> ・国民が広くHIVやエイズに理解と関心を理解を深め、またエイズ患者・HIV陽性者の社会生活を支援し、生活の質を高める。 ・医療従事者への研修を通じた人材育成、個別施策層である同性愛者等に対してエイズに関する正しい知識の普及等を推進すること、そして国際的な情報交換等を通じてエイズの予防対策を推進ことをもって国民の保健福祉の向上に寄与する。 					
事業概要 (5行程度以内。別添可)	<p>HIV感染やエイズの発症予防のため、広く国民にエイズ予防の啓発を行うと同時に同性愛者等に焦点を絞った普及啓発や、夜間・休日などの利用者の利便性に配慮した検査・相談を行う。また、エイズ患者等の生活の質を高めるため、電話相談やカウンセリング等を行う。</p>					
実施状況	<ul style="list-style-type: none"> ①夜間・休日、イベントに合わせた臨時のHIV検査や利用者の特性に応じたHIV検査の実施。 ②HIVに感染した方の不安を取り除き、医療機関へつなげるための医療機関の情報提供や電話相談等の実施。 (訪問相談157件/メール相談256件/対面相談430件/電話相談1896件) ③医療機関で患者・感染者が安心して医療を受けられる体制の整備、医療従事者の研修、症例検討会への支援。 ④国際会議への研究者等の派遣の支援。 ⑤世界エイズデーに合わせ、街頭等における啓発普及活動を実施。 					
予算の状況 (単位:百万円)		19年度	20年度	21年度	22年度	23年度要求
	予算額(補正後)	403	395	356	283	393
	執行額	403	394	349		
	執行率	100.0	99.7	98.0		
	総事業費(執行ベース)	403	394	349		
自己点検	支出先・用途の把握水準・状況	支出先・用途の用途については、事業完了後に提出される事業実績報告により把握。				
	見直しの余地	<p>HIV感染者及びエイズ患者数は増加傾向にあり、歯止めがかかっていない。感染を拡大させないための正しい知識の普及啓発を行うとともに、特に感染者及び患者が増加している青少年及び同性愛者に対しては、HIV感染予防の普及啓発の強化と早期に感染を発見、受診へとつなげる必要がある。</p> <p>また、HIV感染者への相談を行うことで医療機関への受診が増え、生活の質の向上につながることから、相談活動を推進する必要がある。</p>				
予算監視の所見率	<p>一部改善(事業の優先度を勘案し縮減)</p> <p>事業創設から20年以上継続しており、事業の必要性を見直し、優先順位を付けるなど効率化を図ること。</p>					
補記	<p>エイズ・HIVは、正しい知識とそれに基づく個人個人の注意深い行動により、多くの場合、予防することが可能な疾患であることから、エイズ・HIVに関する正しい知識の普及啓発はエイズ対策の基本となるものである。</p> <p>現状は、新規HIV感染者・エイズ患者数が増加傾向にあり、エイズ動向委員会報告(平成21年速報値)によると、新規HIV感染者・エイズ患者は1,428人。その62%が同性間の性的接触で感染しており、感染拡大を抑えるため、同性愛者への予防対策を強化する必要がある。また、20代、30代の若者の感染が64%を占めており、若年層へ対象を絞ったHIV感染予防の普及啓発も強化しなければならない。</p> <p>※例年開催されている原告団との協議(直近は平成21年)において、「HIV感染症に対する偏見差別を解消する」との発言が大臣からあり、議事確認書を原告団との間で取り交わしている。また、原告団からは「特にエイズという病気は予防を緩めると患者が増える。この危機感を持ってエイズ対策予算を確保すること」も言明されており、これらの点もふまえて総合的なHIV・エイズ対策を行う必要がある。</p>					

資金の流れ
(資金の受け取り先が何を
しているかについて補足する)
(単位:百万円)

厚生労働省(349百万円)

エイズ予防対策事業委託費

(委託先の決定、事業の内容審査、
事業者の指導監督等)

同性愛者等に対するHIV/エイズ

(委託先の決定、事業の内容審査、
事業者の指導監督等)

【公募・委託】

【公募・委託】

A.財団法人a
285百万円

以下の事業の実施
・血液凝固異常症実態調査事業
・HIV感染者等保健福祉相談事業
・ボランティア指導者育成事業
・相談員養成研修事業
・エイズ治療拠点病院従事者海外実地研修
事業
・エイズ治療拠点病院地域別病院長会議開
催事業
・エイズ国際会議研究所等派遣事業
・エイズ国際協力計画推進事業
・エイズ知識啓発普及事業

・同性愛者に対し、HIV/エイズに関する情報提供を
行うためのコミュニティセンターの設置と管理
・運営に必要なスタッフの配置
・HIV/エイズ予防啓発のための資料作成および配
布
・予防啓発等に関する研修会の実施

エイズ知識啓発イベント企画運営等事業

(委託先の決定、事業の内容審査、
事業者の指導監督)

【企画競争・委託】

B. b社
36百万円

(RED RIBBON LIVE 2009の企画・運営の実施)

【委託】

C.一般企業(6社)
14.8百万円

(内訳)

c社 6百万円
d社 4百万円
e社 3百万円
f社 1百万円
g社 0.4百万円
h社 0.4百万円

RED RIBBON LIVE 2009における以下の業務を実施
放映、会場、運営、映写、舞台美術、映像収録、舞台監督

エイズ患者等に対する社会的支援

〔委託先の決定、事業の内容審査、事業者の指導監督〕



【企画競争・委託】

D.NPO法人i
20百万円

〔・電話、対面、メール、訪問による相談への対応〕



E.NPO法人(3団体)
4百万円

(内訳)
NPO法人j 2百万円
NPO法人k 1百万円
NPO法人l 1百万円

〔外国語による電話相談への対応〕

HIV/エイズの対策に関するアジア行政官会議開催事業

〔委託先の決定、事業の内容審査、事業者の指導監督〕



【企画競争・委託】

F.m社
8百万円

〔以下の業務の実施
・会場、宿泊、移動手段の確保
・プログラム及びスケジュールの提案
・参加者の事前の連絡調整
・航空券の手配
・アンケートの作成
・謝礼金、日当等の支給、調整〕

A.財団法人a			E.NPO法人j		
費目	使 途	金 額 (百万円)	費目	使 途	金 額 (百万円)
庁費	消耗品、印刷費、通信費、会議費等	191	雑役務費	英語・ポルトガル語・スペイン語による電話相談費用	2
人件費	本給等	48			
旅費	研究者海外派遣料等	18			
その他	消費税等	17			
諸謝金	講師、協力者への謝金	11			
計		285	計		2
B. b社			F. m社		
費目	使 途	金 額 (百万円)	費目	使 途	金 額 (百万円)
委託費	c社、d社、e社、f社、g社、h社へのRED RIBBON LIVE 2009における放映、会場、運営、映写、舞台美術、映像収録、舞台監督等の委託	16	人件費	本給等	3
人件費	制作人件費等	12	旅費	海外渡航料等	2
その他	一般管理料、消費税等	4	庁費	消耗品、印刷費、電話料等	2
庁費	サーバ料金、印刷費等	2	その他	一般管理費、諸謝金等	1
謝礼金	参加者への謝礼金	2			
計		36	計		8
C.c社			G.		
費目	使 途	金 額 (百万円)	費目	使 途	金 額 (百万円)
運営費	RED RIBBON LIVE 2009の運営費	6			
計		6	計		0
D.NPO法人i			H.		
費目	使 途	金 額 (百万円)	費目	使 途	金 額 (百万円)
人件費	本給等	8			
庁費	相談室借料、パート相談員賃金等	7			
委託費	外国語による電話相談の委託	4			
その他	損害保険料、消費税等	1			
計		20	計		0

費目・使途
 (「資金の流れ」
 においてブロックごとに最大の金額が支出されている者について記載する。使途と費目の双方で実情が分かるように記載)